

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
教育総務課	溝口 容子
学校教育課	川村 義輝
生涯学習課	安達 純

重点目標	3 子どもを健やかに育む教育環境を充実します
基本の方針	災害や事件・事故等に備えた安全確保のため、学校施設の老朽化対策等を計画的に進めるとともに、児童生徒が自らの安全を守るための能力を身に付けさせる安全教育や、また、ボランティアの協力を得る等、地域が一体となって支える教育環境づくりを進めます。 また、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての子どもの健やかな育ちを保障する教育環境を整備します。 教職員の業務改善・時間外勤務縮減を強力に実行し、教職員が一人ひとりの子どもに向き合える環境を整備します。

1. 施策の方向性

PLAN

1. 子どもの安全・安心の確保	①児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導や子ども安心パトロール車の運行等、保護者や地域ボランティアの協力を得ながら、学校内外における安全確保に努めます。 ②学校再配置による校区の拡充に伴い、遠距離通学用スクールバスの安全な運行管理及び車両管理を実施します。 ③児童生徒自身の危機対応能力を育むため、各学校の危機管理マニュアルに基づく防災教育や安全教育を計画的・継続的に実施します。
2. 学校施設環境等の整備充実	①少子化の進行を踏まえ、適正な学校規模を検討する中で、必要な施設整備を進めます。 ②教育環境の維持・改善のため、トイレの洋式化をはじめ学校施設・設備の改修、修繕等を計画的に進めます。 ③児童生徒の安全確保に向け、計画的かつ効果的な学校施設の老朽化対策を進めます。 ④安全・安心な学校給食を提供するため、より衛生的で安全性を重視した給食施設の整備を計画的に進めます。
3. 個に応じた支援体制の充実	①発達障害等を含む障害のある子ども一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな支援により教育の一層の充実を図るため、学校園と保護者、行政、医療及び関係機関等が広く連携し、乳幼児期から青年期までを見通した特別支援教育の体制整備を進めます。 ②外国語を母語とするなど日本語の習得が十分ではない児童生徒に対し、スクールサポーターを配置するなど個別に日本語支援を行う体制を整備します。
4. ボランティアによる学習支援の推進	①市民のボランティア意識を高め、地域と学校の連携・協働の下、学校の教育活動に地域のボランティアが参画する「地域学校協働本部事業」の推進など自らの知識や学習で培った技術などを学校で、児童に紹介する機会づくりを進めます。 ②市民ボランティアが、地域の中で、子どもたちの活動を支える環境づくりを進めます。
5. 教職員が子どもと向き合える環境づくりの推進	①本市の教職員の働き方改革実行計画を強力に進め、教職員が心身ともに健康で、一人ひとりの子どもに颯爽と向き合える環境づくりを進めます。 ②教職員のメンタルヘルス対策の推進、校務支援システムの活用、部活動指導員の配置等、教職員の負担を軽減する取組みを推進します。 ③「京都式チーム学校」をより良く機能させるために、多様な専門性を有する人材の配置充実や学校体制の強化を図り、学校現場における業務改善の取組み・教員の負担軽減策を推進します。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市学校施設耐震化計画	耐震化に対する国の動向や財政措置の状況を的確にとらえつつ、本市における学校施設の耐震化を可能な限り早く、計画的に進めていくことを目的に、本計画を定めるもの	平成22年11月	平成22年度～平成26年度	
京丹後市学校再配置基本計画	急速に少子化が進むなか、本市の次代を担っていく子どもたちに、より良い教育環境や教育条件を整えるため、学校力を高めるための学校規模などを考えた学校再配置の取組みを進めていくために策定	平成22年12月	平成23年度～令和2年度	前期(H23～27年度)と後期(H28～R2年度)に区分し、段階的に再配置を進める
京丹後市学校施設の長寿命化計画(学校施設の個別施設計画)	文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)の方針に基づき、学校施設の実態把握及び分析を行い、本市の実情に即した基本的な整備方針や施設整備の水準について示し、長寿命化の観点から財政負担の低減及び平準化を図り、学校施設の維持管理を進めていくことを目的に策定	令和3年3月	令和3年度～令和12年度	

2. 主な取組と構成事務事業一覧		PLAN	DO	※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照		CHECK	ACT
1. 子どもの安全・安心の確保		決算額(単位:千円)			事務の改善		
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課					
① 児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導や子ども安心パトロール車の運行等、保護者や地域ボランティアの協力を得ながら、学校内外における安全確保に努めます。							
② 学校再配置による校区の拡充に伴い、遠距離通学用スクールバスの安全な運行管理及び車両管理を実施します。							
③ 児童生徒自身の危機対応能力を育むため、各学校の危機管理マニュアルに基づく防災教育や安全教育を計画的・継続的に実施します。							
1	学校医委嘱事業	学校教育課	19,930	19,758	19,665	現状維持	
	学校保健安全法に基づき、各学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。						
1. 子どもの安全・安心の確保		決算額(単位:千円)			事務の改善		
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課					
2	学務経費	学校教育課	5,259	5,429	4,952	現状維持	
	学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。 また、小中学校の枠を超えた取組として、特別支援学級ふれあい交流会を実施する。						
3	学校安全対策事業	学校教育課	5,641	5,039	7,210	現状維持	
	保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、児童生徒を事件や事故から守る。						
4	児童教職員健康管理事業	学校教育課	40,394	9,538	9,921	現状維持	
	児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。						
5	児童教職員健康管理事業【繰越】	学校教育課	-	13,924	15,750		
	新型コロナウイルス感染症による感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するためにも、学校における感染症対策及び児童の学びの保障に必要な体制を整備する。						
6	生徒教職員健康管理事業	学校教育課	17,194	6,393	6,976	現状維持	
	生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、生徒及び教職員の健康の保持増進と中学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。						
7	生徒教職員健康管理事業【繰越】	学校教育課	-	5,594	5,850		
	新型コロナウイルス感染症による感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するためにも、学校における感染症対策及び生徒の学びの保障に必要な体制整備を促進する。						
8	小学校スクールバス運行管理事業	学校教育課	94,052	88,791	101,484	現状維持	
	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認めた児童の通学のためにスクールバスを運行する。						
9	小学校通学支援事業	学校教育課	281	283	222	現状維持	
	遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。						
10	中学校スクールバス運行管理事業	学校教育課	71,195	71,704	65,529	現状維持	
	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認めた生徒の通学のためにスクールバスを運行する。						
11	中学校スクールバス購入事業	学校教育課	13,572	-	-	統合(整理)	
	中学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の安全な通学手段を確保する。						
12	中学校通学支援事業	学校教育課	204	195	195	現状維持	
	自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。						
2. 学校施設環境等の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善		
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課					
① 少子化の進行を踏まえ、適正な学校規模を検討する中で、必要な施設整備を進めます。							
② 教育環境の維持・改善のため、トイレの洋式化をはじめ学校施設・設備の改修、修繕等を計画的に進めます。							
③ 児童生徒の安全確保に向け、計画的かつ効果的な学校施設の老朽化対策を進めます。							
④ 安全・安心な学校給食を提供するため、より衛生的で安全性を重視した給食施設の整備を計画的に進めます。							
13	学校適正配置推進事業	学校教育課	-	-	-	現状維持	
	京丹後市学校適正配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組を推進する。						
14	小学校施設改修事業	教育総務課	102,266	70,973	145,220	現状維持	
	小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。						

2. 学校施設環境等の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
15	小学校施設管理事業 学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。	教育総務課	30,017	27,171	27,025	現状維持
16	中学校施設改修事業 中学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。	教育総務課	25,246	210,763	18,600	現状維持
17	中学校施設改修事業【繰越】 「新しい生活様式」を踏まえ、健やかな学びの保障を目指すため、新型コロナウイルス感染症対策として特別教室の空調化設計を行い、教育環境を整備する。	教育総務課	-	4,921	-	
18	中学校施設管理事業 学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。	教育総務課	10,216	9,548	9,786	現状維持
19	小学校管理運営事業 適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。	学校教育課	134,799	151,908	152,932	現状維持
20	中学校管理運営事業 適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。	学校教育課	61,845	64,079	64,375	現状維持
21	網野給食センター管理運営事業 網野地域の小学校及び中学校に栄養バランスの取れた給食を提供し、児童生徒の心身の健全な発達に寄与する。	学校教育課	31,840	31,452	35,776	現状維持
22	小学校給食管理運営事業 児童の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。	学校教育課	159,048	167,910	179,283	拡大
23	中学校給食管理運営事業 生徒の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。	学校教育課	46,340	49,871	61,166	拡大
24	学校給食一般経費 学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、献立研究会の活発な活動を促し、衛生管理や栄養面等での充実を図る。	学校教育課	2,584	560	929	現状維持
25	公立学校施設災害復旧事業 令和3年8月3日の落雷により被災した学校施設の復旧を図る。	教育総務課	-	3,850	-	縮小
26	公立学校施設災害復旧事業【繰越】 令和元年10月2日発生台風19号により被災した学校施設の復旧を図る。	教育総務課	1,804	-	-	
3. 個に応じた支援体制の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 発達障害等を含む障害のある子ども一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな支援により教育の一層の充実を図るため、学校園と保護者、行政、医療及び関係機関等が広く連携し、乳幼児期から青年期までを見通した特別支援教育の体制整備を進めます。						
② 外国語を母語とするなど日本語の習得が十分ではない児童生徒に対し、スクールサポーターを配置するなど個別に日本語支援を行う体制を整備します。						
27	小学校スクールサポーター等設置事業 スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。	学校教育課	(53,166)	(60,282)	(83,252)	現状維持
28	中学校スクールサポーター等設置事業 スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。	学校教育課	(39,572)	(38,027)	(50,196)	現状維持
4. ボランティアによる学習支援の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 市民のボランティア意識を高め、地域と学校の連携・協働の下、学校の教育活動に地域のボランティアが参画する「地域学校協働本部事業」の推進など自らの知識や学習で培った技術などを学校で、児童に紹介する機会づくりを進めます。						
② 市民ボランティアが、地域の中で、子どもたちの活動を支える環境づくりを進めます。						
29	地域学校協働本部事業《再掲》 「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。	生涯学習課	3,475	3,403	3,780	現状維持
5. 教職員が子どもと向き合える環境づくりの推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 本市の教職員の働き方改革実行計画を強力に進め、教職員が心身ともに健康で、一人ひとりの子どもに颯爽と向き合える環境づくりを進めます。						
② 教職員のメンタルヘルス対策の推進、校務支援システムの活用、部活動指導員の配置等、教職員の負担を軽減する取組みを推進します。						
③ 「京都式チーム学校」をより良く機能させるために、多様な専門性を有する人材の配置充実や学校体制の強化を図り、学校現場における業務改善の取組み・教員の負担軽減策を推進します。						

5. 教職員が子どもと向き合える環境づくりの推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
30	共同学校事務室運営事業 学校事務処理の適正化及び標準化、効率化、学校マネジメント機能の強化等を図るため、共同学校事務室を設置し、学校の教育力・組織力の向上を推進する。	学校教育課	-	226	3,258	現状維持
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性
31	日用品費等援助事業 低所得世帯を対象に日用品、文房具等の購入費などの実費徴収額について、費用の一部を助成し、対象家庭の経済的負担を軽減する。	子ども未来課	4	-	-	
32	児童福祉総務一般経費 児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な一般経費	子ども未来課	2,527	14,094	1,036	改善・効率化
33	教育委員会一般経費 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会を運営する。	教育総務課	3,826	3,884	3,999	現状維持
34	事務局一般経費 教育委員会事務局の円滑な運営及び公用車の適正な維持管理を行うとともに、全国部活動特別入学者選抜により市内の高等学校に入学する生徒を応援する補助金を創設し、生徒の就学支援及び地域の活性化を図った。	教育総務課	4,810	7,169	9,254	拡大
35	学校跡施設管理事業 学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行い、利活用の推進を図る。	教育総務課	83,623	209,131	2,006	改善・効率化
36	学校跡施設管理事業【繰越】 老朽化が進み、利活用が見込めない旧湊小学校施設を除却するとともに、閉校した施設の低圧化工事を実施し、適正な維持管理及び跡地利活用の推進を図る。	教育総務課	-	-	220,466	
37	学校教育施設整備基金 学校跡施設の建物貸付料をもとに、学校教育施設の整備等を進めることを目的とした学校教育施設整備基金への積立金	教育総務課	1,584	1,606	1,604	現状維持
計			973,576	1,259,167	1,178,249	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	災害や事件・事故等に備えた安全確保のため、学校施設の老朽化対策等を計画的に進めるとともに、児童生徒が自らの安全を守るための能力を身に付けさせる安全教育や、また、ボランティアの協力を得る等、地域が一体となって支える教育環境づくりを進めます。 また、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての子どもの健やかな育ちを保障する教育環境を整備します。 教職員の業務改善・時間外勤務縮減を強力に実行し、教職員が一人ひとりの子どもに向き合える環境を整備します。							
	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
主な目標指標				年度		年度		年度
	市立小学校の耐震化	%	88.5	H25	100	R3	100	R6
	市立中学校の耐震化	%	93.5	H25	100	R3	100	R6
	非構造部材の耐震対策	%	0(調査中)	H26	100	R3	100	R6
	児童生徒用トイレの洋式化整備校数<小学生>	校	-		14	R3	17	R6
	児童生徒用トイレの洋式化整備校数<中学生>	校	-		1	R3	6	R6
	学校支援ボランティア登録者数	人	427	H25	557	R3	600	R6
	時間外勤務月45時間超(年平均)の教職員数<小学校>	人	-	H25	131	R3	0	R6
時間外勤務月45時間超(年平均)の教職員数<中学校>	人	-	H25	110	R3	0	R6	

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

ACT

進捗状況区分	評価	令和3年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる		<p>《市立小学校の耐震化》 学校施設耐震化計画による小学校の耐震化は平成27年度をもって完了した。</p> <p>《市立中学校の耐震化》 学校施設耐震化計画による中学校の耐震化は平成26年度をもって完了した。</p> <p>《非構造部材の耐震対策》 国が指導する大規模空間(体育館やランチルームなど200㎡以上の空間を有する箇所等)の非構造部材耐震対策は、平成28年度をもって完了した。</p> <p>《児童生徒用トイレの洋式化整備校数》 小学校を優先して学校施設の児童生徒用、身障者用、体育館等のトイレ洋式化整備を計画的に実施するため、前年度に設計業務を行い、翌年度に整備工事を実施する。令和3年度は、網野北小・島津小学校の2校を整備した。</p> <p>《学校支援ボランティア登録者数》 ボランティア登録者数は名簿の整理を行ったことから減少した。高齢化が進んでいるため、学校のニーズに応じたボランティアの確保が課題である。</p> <p>《時間外勤務月45時間超(年平均)の教職員数》 令和2年度までは目標達成状況が向上していた。しかし、令和3年度、コロナの感染防止のために行事等の縮小や廃止を行ったものの年間を通じた感染対策の中で学校教育活動を実施したことにより、小学校で前年度比5.1%の増加となった。京丹後市教職員の働き方改革実行計画(R3.7改定)の段階的目標の達成(令和5年度に45時間以内100%達成)を目指し、教育委員会事務局と学校とがさらなる連携強化を行う中で取組みを推進していく必要がある。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和4年～令和6年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	児童生徒を事件や事故から守るため、スクールガード・リーダーによる巡回指導及び子ども安心パトロール車の運行を継続して実施するとともに、除雪活動や子どもたちを見守る地域ボランティア等の拡充を図る。
	2	老朽化が進む学校施設を適切に維持管理を行うとともに教育環境の改善を図るため、計画的にトイレの洋式化事業を進める。また学校施設の長寿命化計画を定め、中長期的な視点で改修等を行う。
	3	特別な支援が必要な子どものニーズに対応するため、学校園へのスクールサポーター(介護支援員)を継続配置するとともに、学校園及び保護者、関係機関が連携し、特別支援教育体制整備の推進を図る。
	4	ボランティア人材の発掘・育成・確保に重点を置きながら、より効果的、効率的なコーディネーターの配置等、多様化する学校ニーズに対応できる推進体制整備を図る。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	19,758千円	19,825千円	67千円	99.6%	(参考)当初予算額	19,825千円				
	目	02 事務局費										
	事業	04 学校医委嘱事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	学校保健安全法に基づき、各学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。											
主要な事務・事業の概要	○報酬		19,737千円									
	・医師報酬											
	小学校	17人	5,972千円									
	中学校	6人	2,587千円									
・歯科医報酬												
小学校	17人	5,972千円										
中学校	6人	2,587千円										
・薬剤師報酬												
小学校	17人	2,064千円										
中学校	6人	555千円										
○旅費												
・費用弁償			21千円									
				成果・課題	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図ることができた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,429千円	5,645千円	216千円	96.1%	(参考)当初予算額	5,348千円				
	目	02 事務局費										
	事業	05 学務経費										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源									
目的	学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。 また、小中学校の枠を超えた取組として、特別支援学級ふれあい交流会を実施する。											
主要な事務・事業の概要	○学齢簿の管理（委託料）		726千円									
	学齢簿関連システム保守料及びシステム改修業務											
	○特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費）		40千円									
	・各学園ふれあい交流会 小学校及び中学校の特別支援学級の児童・生徒が集まって交流 実施中学校区：全中学校区 ・中学校ふれあい交流会 ※新型コロナウイルス感染症の影響のため中止											
○人権教育研究会（消耗品費）		23千円										
○就学時健康診断（医師謝金、消耗品費、費用弁償）		812千円										
※受診人数：396人												
				○負担金	3,775千円							
				・日本スポーツ振興センター負担金	3,417千円							
				・京都府学校保健会負担金	44千円							
				・京都府学校保健主事会負担金	18千円							
				・京都府特別支援教育研究協議会負担金	10千円							
				・教育研究事業負担金	86千円							
				・京都府学校保健研究大会負担金	200千円							
				○児童生徒・教職員健康診断（消耗品費、印刷製本費、施設使用料）	13千円							
				○各種通知封筒印刷	40千円							
				成果・課題	○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりができた。 ○京都府学校保健研究大会を主管地として開催するにあたり、コロナ禍での開催が困難な中、オンラインで開催し、スムーズな大会運営を行うことができた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 教育委員会事務局 課 学校教育課																																							
	項	01 教育総務費	5,039千円	5,387千円	348千円	93.5%																																								
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額																																								
	事業	06 学校安全対策事業				5,587千円																																								
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		国補 繰入金	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金(2/3) ふるさと応援基金繰入金	808千円 2,000千円																																									
目的	保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、児童生徒を事件や事故から守る。																																													
主要な事務・事業の概要	○子ども安心パトロール車(にこにこカー)の運行・管理 3,041千円 各学校に20台、教育委員会事務局に1台を配置し、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めた。 ・維持管理費及び運行経費 燃料費(ガソリン代) 945千円 消耗品費・修繕料(車検、車両消耗品ほか) 1,105千円 手数料・保険料・公課費 991千円 配車一覧 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr><td>1</td><td>峰山小、長岡小</td><td>8</td><td>いさなこ小</td><td>15</td><td>峰山中</td></tr> <tr><td>2</td><td>大宮第一小</td><td>9</td><td>網野南小</td><td>16</td><td>大宮南小</td></tr> <tr><td>3</td><td>網野中</td><td>10</td><td>橋小</td><td>17</td><td>鷹津小</td></tr> <tr><td>4</td><td>丹後中</td><td>11</td><td>宇川小</td><td>18</td><td>網野北小、弥栄小</td></tr> <tr><td>5</td><td>大宮中</td><td>12</td><td>弥栄小、吉野小</td><td>19</td><td>丹後小</td></tr> <tr><td>6</td><td>高尾小</td><td>13</td><td>久美浜中</td><td>20</td><td>かふと山小、久美浜小</td></tr> <tr><td>7</td><td>教育委員会事務局</td><td>14</td><td>弥栄中</td><td>21</td><td>しんざん小</td></tr> </table>		1	峰山小、長岡小	8	いさなこ小	15	峰山中	2	大宮第一小	9	網野南小	16	大宮南小	3	網野中	10	橋小	17	鷹津小	4	丹後中	11	宇川小	18	網野北小、弥栄小	5	大宮中	12	弥栄小、吉野小	19	丹後小	6	高尾小	13	久美浜中	20	かふと山小、久美浜小	7	教育委員会事務局	14	弥栄中	21	しんざん小	○スクールガード・リーダー巡回・指導 1,759千円 警察官OBの5人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。 ・年間巡回活動等の実績：5人で330回 ・報償金(活動謝金) ・保険料(総合補償保険料) ○学校の除雷活動 239千円 積雪時の通学の安全性を高めるため、ボランティアによる除雷活動体制づくりを支援した。 ・保険料(ボランティア活動保険) ・修繕料(除雷機) ○各小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊(ボランティア)等による地域ぐるみの見守り活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進することで、児童、生徒の安全につながっている。 ○関係機関と協力し、クマやサルなどの野生動物の出没情報をいち早く学校と共有することで、児童・生徒への被害を未然に防ぐ必要がある。 ○通学路の安全性をより高めるため、関係機関と連携し除雷体制を推進する必要がある。	
	1	峰山小、長岡小	8	いさなこ小	15	峰山中																																								
	2	大宮第一小	9	網野南小	16	大宮南小																																								
	3	網野中	10	橋小	17	鷹津小																																								
4	丹後中	11	宇川小	18	網野北小、弥栄小																																									
5	大宮中	12	弥栄小、吉野小	19	丹後小																																									
6	高尾小	13	久美浜中	20	かふと山小、久美浜小																																									
7	教育委員会事務局	14	弥栄中	21	しんざん小																																									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 教育委員会事務局 課 学校教育課			
	項	02 小学校費	9,538千円	25,440千円	15,902千円	37.4%				
	目	01 小学校管理費				(参考)当初予算額				
	事業	04 児童教職員健康管理事業				10,166千円				
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		国補 府負	学校保健特別対策事業費補助金(1/2) みそによる子どものむし歯予防事業費補助金(1/2)	864千円 19千円					
目的	児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。									
主要な事務・事業の概要	○需用費(保健衛生消耗品、修繕料、医薬材料) (うち感染症対策に要した消耗品等 744千円) 1,988千円 ○委託料 5,169千円 ・児童検診委託料 3,790千円 心臓検診委託料 1次 796人 (1・4年、経過観察者) 2次 102人 眼科検診委託料 2,332人 耳鼻科検診委託料 2,332人 尿検査委託料(春) 1次 2,340人 2次 61人 尿検査委託料(秋) 1次 2,343人 2次 57人 腎臓関心症検診委託料 7人 (校医抽出者) 結核検診料 3人 ・教職員健康診断委託料 1,177千円 ・教職員結核検診委託料 202千円		○使用料及び賃借料 1,033千円 ・自動車借上料(検診時医師送迎用ほか) 51千円 ・機械器具借上料(AEDリース料・17校分) 982千円 ○備品購入費(感染症対策) 1,348千円 CO ₂ モニター、空気清浄機ほか <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr><td>参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>9,690千円</td></tr> <tr><td></td><td>実質的な予算執行率</td><td>93.4%</td></tr> </table>		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	9,690千円		実質的な予算執行率	93.4%
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	9,690千円							
		実質的な予算執行率	93.4%							
			■令和4年度への繰越事業 15,750千円 小学校新型コロナウイルス感染症対策事業 令和5年3月完了予定							
		○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や各種健康診断を実施するなど、児童及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。 ○市内全小学校においてフッ化物洗口を実施し、児童のむし歯予防の環境を整えることができた。		成果・課題						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	13,924千円	14,050千円	126千円	99.1%		
	目	01 小学校管理費				(参考)繰越予算額		
	事業	04 児童教職員健康管理事業(繰越)				14,050千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		国補	学校保健特別対策事業費補助金(1/2)			6,944千円	
目的	新型コロナウイルス感染症による感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するためにも、学校における感染症対策及び児童の学びの保障に必要な体制を整備する。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	○需用費 4,571千円 ・消耗品費(手指消毒液、消毒用ビニール手袋ほか) 3,082千円 ・修繕料(水道蛇口のレバーハンドル化ほか) 1,489千円 ○備品購入費 8,835千円 ・備品購入費(空気清浄機、サーモグラフィ、CO ₂ モニターほか) ○負担金、補助及び交付金 518千円 ・修学旅行等新型コロナウイルス感染症対策費補助金 (該当校:大宮第一小学校、丹後小学校、宇川小学校、高龍小学校 計4校) 補助内容:新型コロナウイルス感染症の感染対策(密対策)として、修学旅行における貸切バスの増台及び車両変更に必要な経費を補助。							
			成果・課題	国の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、持続的に児童の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及び拡大のリスクに対処したうえで、学校運営を継続していくことができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	6,393千円	12,285千円	5,892千円	52.0%		
	目	01 中学校管理費				(参考)当初予算額		
	事業	04 生徒教職員健康管理事業				7,115千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		国補	学校保健特別対策事業費補助金(1/2)			344千円	
目的	生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、生徒及び教職員の健康の保持増進と中学校の教育活動における安全・安心な環境を整える。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	○需用費(保健衛生消耗品、修繕料、医薬材料) 812千円 (うち感染症対策に必要な消耗品 212千円) ○委託料 4,222千円 ・生徒検診委託料 3,279千円 心臓検診委託料 1次 471人(1年、経過観察者) 2次 106人 眼科検診委託料 1,305人 耳鼻科検診委託料 1,306人 尿検査委託料(春) 1次 1,316人 2次 121人 尿検査委託料(秋) 1次 1,311人 2次 78人 血液検査委託料 443人(2年、経過観察者) 腎臓病検診委託料 10人(校医抽出者) ・教職員健康診断委託料 792千円 ・教職員結核検診委託料 151千円 ○使用料及び賃借料 671千円 ・自動車借上料(検診時医師送迎用) 19千円 ・機械器具借上料(AEDリース料・6校分) 652千円		○備品購入費 688千円 (うち感染症対策に必要な備品分 688千円) CO ₂ モニター、サーモグラフィ ほか 参考 繰越明許費を除いた最終予算額 6,435千円 実質的な予算執行率 99.3% ■令和4年度への繰越事業 5,850千円 中学校新型コロナウイルス感染症対策事業 令和5年3月完了予定					
			成果・課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や各種健康診断を実施するなどして、生徒及び教職員の健康を保持増進するとともに、学校の安全・安心な環境を整備することができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	5,594千円	5,650千円	56千円	99.0%		
	目	01 中学校管理費				(参考)当初予算額		
	事業	04 生徒教職員健康管理事業(繰越)	5,650千円					
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	国補 学校保健特別対策事業費補助金(1/2)		2,797千円		課	学校教育課	
目的	新型コロナウイルス感染症による感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するためにも、学校における感染症対策及び生徒の学びの保障に必要な体制整備を促進する。		主な財源					
主題な事務・事業の概要	○需用費 832千円 ・消耗品費(手指消毒液、消毒用ビニール手袋ほか)		○備品購入費 4,762千円 ・備品購入費(空気清浄機、サーマルカメラ、CO ₂ モニターほか)					
					成果・課題 国の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、持続的に生徒の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及び拡大のリスクに対処したうえで、学校運営を継続していくことができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																														
	項	02 小学校費	88,791千円	89,700千円	909千円	98.9%																																
	目	01 小学校管理費				(参考)当初予算額																																
	事業	05 小学校スクールバス運行管理事業	106,928千円																																			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	繰入金 ふるさと応援基金繰入金		65,000千円		課	学校教育課																															
目的	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた児童の通学のためにスクールバスを運行する。		主な財源																																			
主題な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料 88,402千円 ※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託		<table border="1"> <tr> <td>いざなぎ小</td> <td>3台</td> <td>橘小</td> <td>1台</td> <td>弥栄小</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>しんざん小</td> <td>1台</td> <td>島津小</td> <td>1台</td> <td>久英浜小</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>大宮南小</td> <td>3台</td> <td>丹後小</td> <td>4台</td> <td>高龍小</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>網野南小</td> <td>3台</td> <td>宇川小</td> <td>1台</td> <td>かぶと山小</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td colspan="5">計</td> <td>29台</td> </tr> </table>		いざなぎ小	3台	橘小	1台	弥栄小	3台	しんざん小	1台	島津小	1台	久英浜小	1台	大宮南小	3台	丹後小	4台	高龍小	4台	網野南小	3台	宇川小	1台	かぶと山小	4台	計					29台				
	いざなぎ小	3台	橘小	1台	弥栄小	3台																																
しんざん小	1台	島津小	1台	久英浜小	1台																																	
大宮南小	3台	丹後小	4台	高龍小	4台																																	
網野南小	3台	宇川小	1台	かぶと山小	4台																																	
計					29台																																	
○バス停維持管理経費 10千円 ・火災保険料、土地借上料(15.66㎡)		○需用費 379千円 ・消耗品費、修繕料		成果・課題 ○スクールバスの運行により、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。																																		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局												
	項	02 小学校費							283千円	283千円	千円	100.0 %								
	目	01 小学校管理費											(参考)当初予算額							
	事業	06 小学校通学支援事業												271千円						
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源																		
目的	遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。																			
主要な事務・事業の概要	○遠距離通学補助金 283千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>対象児童数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮南小学校</td> <td>7人</td> <td>106千円</td> </tr> <tr> <td>宇川小学校</td> <td>11人</td> <td>177千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18人</td> <td>283千円</td> </tr> </tbody> </table>		学校名	対象児童数	補助金額	大宮南小学校	7人	106千円	宇川小学校	11人	177千円	計	18人	283千円						
	学校名	対象児童数	補助金額																	
大宮南小学校	7人	106千円																		
宇川小学校	11人	177千円																		
計	18人	283千円																		
						成果・課題		遠距離通学をする児童を対象とした遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																
	項	03 中学校費							71,704千円	73,542千円	1,838千円	97.5 %												
	目	01 中学校管理費											(参考)当初予算額											
	事業	05 中学校スクールバス運行管理事業												96,076千円										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補 へき地生徒援助費補助金(1/2) 3,750千円 繰入金 ふるさと応援基金繰入金 55,000千円 市債 中学校スクールバス整備事業債(過疎対策債) 4,400千円																					
目的	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた生徒の通学のためにスクールバスを運行する。																							
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料 63,215千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校</td> <td>(1台)</td> </tr> <tr> <td>網野中学校</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校</td> <td>10台</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17台(18台)</td> </tr> </tbody> </table> ※大宮中の車両は、大宮南小スクールバスの大宮中生徒対象分		学校名	台数	峰山中学校	1台	大宮中学校	(1台)	網野中学校	3台	丹後中学校	2台	弥栄中学校	1台	久美浜中学校	10台	計	17台(18台)	○スクールバス購入に係る経費 8,243千円 (久美浜中学校スクールバス29人乗り 1台) <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入費 8,197千円 ・手数料、保険料、自動車重量税等 46千円 					
	学校名	台数																						
峰山中学校	1台																							
大宮中学校	(1台)																							
網野中学校	3台																							
丹後中学校	2台																							
弥栄中学校	1台																							
久美浜中学校	10台																							
計	17台(18台)																							
○車両維持管理経費 110千円 ・消耗品費、修繕料		○バス停・車庫維持管理経費 136千円 ・燃料費、火災保険料		成果・課題		○スクールバスの運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○老朽化したスクールバスを更新し、久美浜中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。																		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																								
	項	03 中学校費	195千円	196千円	1千円	99.4%																										
	目	01 中学校管理費				(参考)当初予算額																										
	事業	06 中学校通学支援事業				194千円	課	学校教育課																								
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実																															
目的	自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。		主な財源																													
主要な事務・事業の概要	○通学用ヘルメット購入補助金（補助率1/2） 195千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>対象生徒数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校</td> <td>105人</td> <td>94千円</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校</td> <td>44人</td> <td>40千円</td> </tr> <tr> <td>網野中学校</td> <td>19人</td> <td>17千円</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校</td> <td>11人</td> <td>10千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校</td> <td>31人</td> <td>28千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校</td> <td>7人</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>217人</td> <td>195千円</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	対象生徒数	補助金額	峰山中学校	105人	94千円	大宮中学校	44人	40千円	網野中学校	19人	17千円	丹後中学校	11人	10千円	弥栄中学校	31人	28千円	久美浜中学校	7人	6千円	計	217人	195千円	成果・課題	自転車通学をする生徒を対象としたヘルメットの購入支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。			
	学校名	対象生徒数	補助金額																													
	峰山中学校	105人	94千円																													
大宮中学校	44人	40千円																														
網野中学校	19人	17千円																														
丹後中学校	11人	10千円																														
弥栄中学校	31人	28千円																														
久美浜中学校	7人	6千円																														
計	217人	195千円																														

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	70,973千円	70,977千円	4千円	99.9%		
	目	01 小学校管理費				(参考)当初予算額		
	事業	03 小学校施設改修事業				81,577千円	課	教育総務課
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実							
目的	小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。		主な財源	国補 学校施設環境改善交付金（1/3） 11,793千円 市債 小学校施設整備事業債（過疎対策費） 50,000千円				
主要な事務・事業の概要	○小学校トイレ洋式化工事（網野北・島津） 55,721千円 <ul style="list-style-type: none"> 工事監理委託料 2,052千円 工事請負費 53,573千円 仮設トイレ借上料、汲取手数料 96千円 			成果・課題	○令和4年度工事にに向けた業務委託 6,227千円 <ul style="list-style-type: none"> 小学校トイレ洋式化等工事実施設計業務（峰山・長岡） 			
	○いさなご小学校職員室エアコン改修工事 726千円 <ul style="list-style-type: none"> 工事請負費 		○調査委託料 16千円 <ul style="list-style-type: none"> いさなご小学校落雷解析データ調査 災害復旧事業の申請において、指定する地域・期間内に落雷が発生していた事実を証明するために必要な調査					
	○橋小学校特別支援室エアコン設置工事 1,171千円 <ul style="list-style-type: none"> 工事請負費 							
○その他工事請負費 7,112千円 <ul style="list-style-type: none"> 網野南小学校高圧ケーブル更新工事 1,023千円 いさなご小学校高圧気中開閉器改修工事 405千円 久美浜小学校揚水ポンプ改修工事ほか11件 5,684千円 		○網野北、島津各小学校のトイレ洋式化工事を行うなど、児童の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	27,171千円	27,344千円	173千円	(参考)当初予算額	25,813千円	99.3%				
	目	01 小学校管理費										
	事業	07 小学校施設管理事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実									課	教育総務課	
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○施設等修繕費 11,805千円 <ul style="list-style-type: none"> ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備、遊具等の修繕 ○各種検査、手数料 514千円 <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、漏水調査手数料、倒木処理手数料 ○建物火災保険料 994千円 ○施設保守管理等委託料（13業務） 12,375千円 <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理、エレベーター保守点検、給食用リフト保守点検、学校警備、プール循環保守点検、給食施設消毒等業務、雑木伐採、貯水槽等保守点検、グリストラップ処理、給排水設備保守点検 ○施設用地借上料 150千円 <ul style="list-style-type: none"> ・いさなご小学校（学童園圃用地ほか 751.22㎡） 		<ul style="list-style-type: none"> ○施設修繕のための原材料、消耗品 411千円 <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル、修繕用木材等 ○網野北小学校芝生化事業 922千円 <ul style="list-style-type: none"> ・芝生肥料、芝刈機用燃料、芝刈機修繕、補植用芝生及び芝生用土購入芝生目土作業委託料 	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。 							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	210,763千円	210,844千円	81千円	(参考)当初予算額	236,800千円	99.9%				
	目	01 中学校管理費										
	事業	03 中学校施設改修事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実									課	教育総務課	
目的	中学校施設における改修工事を行い、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。		主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 国補 61,211千円 市債 145,400千円 								
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校特別教室空調化工事 205,782千円 <ul style="list-style-type: none"> （6中学校の音楽室、美術室、理科室 24室） ・工事監理委託料 4,675千円 ・工事請負費 201,107千円 ○大宮中学校コンピューター室エアコン更新工事 878千円 <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 ○その他工事請負費 4,103千円 <ul style="list-style-type: none"> ・大宮中学校体育館壁用スピーカー取替工事 418千円 ・丹後中学校校長室エアコン改修工事 451千円 ・久美浜中学校図書室エアコン更新工事 541千円 ・弥栄中学校理科室洗い場シンク改修工事 693千円 ・弥栄中学校トイレ改修及び手招設置等工事 1,120千円 ・網野中学校防球ネット取替工事 880千円 		<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○「新しい生活様式」を踏まえ、健やかに学習、生活できる環境整備を進めるため、6中学校の特別教室空調化工事を実施することができた。 ○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。 	成果・課題								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費				49.2%		課	教育総務課
	目	01 中学校管理費				(参考)当初予算額			
	事業	03 中学校施設改修事業(繰越)	4,921千円	10,000千円	5,079千円	10,000千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		市債 中学校施設整備事業債(合併特別債) 4,600千円						
目的	「新しい生活様式」を踏まえ、健やかな学びの保障を目指すため、新型コロナウイルス感染症対策として特別教室の空調化設計を行い、教育環境を整備する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○中学校特別教室空調化工事 4,921千円 6中学校の音楽室、美術室、理科室 24室の工事設計委託料								
			成果・課題 「新しい生活様式」を踏まえ、学校においても感染症対策と児童生徒が健やかに学習、生活できる環境整備を整えるため、6中学校の特別教室空調化に向けた設計業務を行うことができた。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費				99.3%		課	教育総務課
	目	01 中学校管理費				(参考)当初予算額			
	事業	07 中学校施設管理事業	9,548千円	9,611千円	63千円	9,148千円			
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源						
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。								
主要な事務・事業の概要	○施設等修繕費 3,672千円 ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕		○施設修繕のための原材料、消耗品 202千円 ・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル、修繕用木材等						
	○各種検査、手数料 79千円 ・貯水槽法定検査、倒木処理手数料								
○建物火災保険料 548千円									
○施設保守管理等委託料(9業務) 3,590千円 ・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、雑木伐採、電気設備保守管理、給食用リフト保守点検、学校警備、給食施設消毒等業務、貯水槽保守点検、グリストラップ処理									
○施設用地借上料 1,457千円 ・弥栄中学校(給食棟、テニスコート用地 4,922㎡)									
		成果・課題 ○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	02 小学校費						151,908千円	153,364千円	1,456千円	99.0%	部	教育委員会事務局
	目	01 小学校管理費											
	事業	02 小学校管理運営事業											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	寄附金 ふるさと応援寄附金 100千円 諸収入 学校施設改修工事等電気水道利用負担金 19千円 諸収入 小学校施設光熱水費利用負担金 18千円									
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。												
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（作業員13人）		33,862千円	○使用料及び賃借料		1,567千円							
	・報酬		23,411千円	・テレビ受信料、ガス警報器使用料		246千円							
	・会計年度任用職員期末手当		4,741千円	・コピー機借上料、印刷機借上料		1,321千円							
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）		4,493千円	（うち、コピー機5台/7台中、印刷機7台/7台中を更新）									
・費用弁償		1,217千円	○備品購入費		3,066千円								
○需用費		107,174千円	・電話機、特別支援学級備品、ストーブほか										
・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか）		31,724千円	（うち、ふるさと応援寄附金充当額100千円 ※高龍小テント購入代）										
・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか）		420千円	○負担金、補助及び交付金		581千円								
・電気代		51,597千円	・校長会、教頭会、教務主任会ほか各種団体負担金										
・水道料		22,879千円	○委託料										
・修繕費（印刷機等の修繕）		554千円	・理科薬品廃棄処分、害虫駆除委託料										
○役員費		5,174千円	成果・課題										
・電話代、郵送料		3,679千円	○教育環境の整備や維持管理など、児童が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。										
・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか）		1,495千円	○老朽化した印刷機器を更新し、校務の効率化を推進した。										
○委託料		484千円	○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	03 中学校費						64,079千円	66,373千円	2,294千円	96.5%	部 <td rowspan="3">教育委員会事務局</td>	教育委員会事務局
	目	01 中学校管理費											
	事業	02 中学校管理運営事業											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	諸収入 学校施設改修工事等電気水道利用負担金		11千円							
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。												
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（作業員6人）		11,913千円	○委託料		298千円							
	・報酬		8,286千円	・理科薬品廃棄処分、害虫駆除委託料									
	・会計年度任用職員期末手当		1,748千円	○使用料及び賃借料		505千円							
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）		1,418千円	・テレビ受信料、ガス警報器使用料		88千円							
・費用弁償		461千円	・コピー機借上料等		417千円								
○需用費		46,152千円	○備品購入費		1,786千円								
・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか）		14,035千円	・保健器具、特別支援学級備品、ストーブほか										
・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか）		217千円	○負担金、補助及び交付金		980千円								
・電気代		24,069千円	・校長会、教頭会、教務主任会ほか各種団体負担金										
・水道料		7,688千円	成果・課題										
・修繕費（印刷機等の修繕）		143千円	○教育環境の整備や維持管理など、生徒が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施することができた。										
○役員費		2,455千円	○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。										
・電話代、郵送料		1,662千円											
・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか）		793千円											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部 課	教育委員会事務局 学校教育課
	項	05 保健体育費	31,452千円	31,962千円	510千円	98.4%	(参考)当初予算額	37,444千円				
	目	04 学校給食費										
	事業	02 網野給食炊事管理運営事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主たる財源 諸収入 市有建物損害共済金 28千円 諸収入 市有自動車損害共済金 372千円 市債 学校給食炊事整備事業債(過疎対策債) 1,500千円										
目的	網野地域の小学校及び中学校に栄養バランスの取れた給食を提供し、児童生徒の心身の健全な発達に寄与する。											
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員経費(調理補助員7人、事務補助員1人) 15,099千円 ○給食調理及び施設維持経費等 9,956千円 ・消耗品費(厨房用消耗品ほか) 1,649千円 ・燃料費(ボイラー用灯油、ガス、配送車燃料) 3,725千円 ・光熱水費(電気、水道代) 4,582千円 ○修繕料 2,116千円 ・厨房内調理機器修理 72千円 ・施設修理(浄化槽設備ほか) 1,315千円 ・車両点検、車検修理(配送車3台、軽トラック1台) 729千円 ○備品購入費 1,751千円 ・業務用冷凍庫(1台)、器具消毒保管機(1台) 1,217千円 ・冷凍庫(検査保存用)(1台)、L型運搬車(4台) 534千円		○浄化槽維持管理委託、浄化槽法定検査手数料 1,311千円 ○検便検査、その他検査 266千円 ○その他(電話代、保険料等、電気設備保守管理委託ほか) 953千円									
			成果・課題 ○網野町域の小中学校の学校給食を効率的に調理し、栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供することができた。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部 課	教育委員会事務局 学校教育課
	項	05 保健体育費	167,910千円	167,972千円	62千円	99.9%	(参考)当初予算額	167,457千円				
	目	04 学校給食費										
	事業	03 小学校給食管理運営事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主たる財源 諸収入 小学校給食調理機器類貸付料 5,544千円 市債 小学校給食備品整備事業債(過疎対策債) 3,800千円										
目的	児童の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。											
主要な事務・事業の概要	小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。 ○給食調理 13,818千円 ・消耗品費 61千円 ・燃料費(ガス) 12,359千円 ・修繕料(調理機器) 1,398千円 ○給食調理業務委託 147,332千円 ・委託料(網野地域を除く全13校を委託) ○備品購入 6,463千円 ・真空冷却器1台(大宮第一小) 3,399千円 ・業務用冷凍庫2台(弥栄小、高龍小) 599千円 ・牛乳保冷庫2台(網野南小、吉野小) 536千円 ・回転釜1台、立体炊飯器1台(久美浜小) 796千円 ・保温・保冷食缶92個(全小学校全クラス分) 902千円 ・食器かご等(小学校4校) 231千円		○機器移設手数料 275千円 ・機器の移設に伴う手数料 ○協議会等負担金 22千円 ・全国学校栄養士協議会負担金 12千円 ・京都府学校給食研究会負担金 9千円 ・京都府学校栄養士協議会負担金 1千円									
			成果・課題 ○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	49,871千円	52,506千円	2,635千円	94.9%	課	学校教育課				
	目	04 学校給食費										
	事業	04 中学校給食管理運営事業										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源 諸収入 中学校給食調理機器類貸付料 1,812千円 市債 中学校給食備品整備事業債(過疎対策債) 1,100千円										
目的	生徒の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。											
主要な事務・事業の概要	中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。 ○会計年度任用職員任用経費(峰山中1人、大宮中2人) ・報酬費、期末手当、共済費、費用弁償 4,503千円											
	○給食調理 7,440千円 ・消耗品費 656千円 ・燃料費(ガス) 5,747千円 ・修繕料(調理機器) 1,017千円 ・手数料(包丁研磨、調理備品移設) 20千円											
	○給食調理業務委託 36,155千円 ・委託料(網野中学校を除く5校中3校を委託) 丹後中、弥栄中、久美浜中											
			○備品購入 1,744千円 ・スチームコンベクションオープン1台(丹後中) 1,118千円 ・3槽シンク1台(峰山中) 234千円 ・保温・保冷食缶33個(全中学校全クラス分) 324千円 ・食器かご等(丹後中、大宮中) 68千円 ○協議会等負担金 29千円 ・全国学校栄養士協議会負担金 24千円 ・京都府学校給食研究会負担金 3千円 ・京都府学校栄養士協議会負担金 2千円									
		成果・課題 ○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	560千円	701千円	141千円	79.8%	課	学校教育課				
	目	04 学校給食費										
	事業	50 学校給食一般経費										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源										
目的	学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、献立研究会の活発な活動を促し、衛生管理や栄養面等での充実を図る。											
主要な事務・事業の概要	○衛生管理の徹底 537千円 学校給食衛生管理基準に基づく給食調理施設の衛生管理を徹底するため、各種検査を実施するとともに、衛生対策関連の消耗品の種類や内容を統一して、一括購入・供給を行った。											
	・衛生用消耗品購入 446千円 ・給食調理員等検便検査 80千円 ・給食用食材細菌検査等 11千円											
	○栄養士負担金 15千円 ・京都府栄養士会負担金											
	○給食費公会計化に伴う視察(南丹市:3人) 8千円 ・旅費(普通旅費) 5千円 ・有料道路通行料 3千円											
		成果・課題 ○学校給食全般における衛生管理の徹底及び給食献立の研究を進めることで、衛生管理と栄養面での充実につながった。 ○給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全教育を徹底するとともに、各種検査の充実を図り、より安全・安心な学校給食を実施していく必要がある。										

予算科目	款	11 災害復旧費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 文教施設災害復旧費	3,850千円	3,850千円	千円	100.0%		
	目	01 公立学校施設災害復旧費				(参考)当初予算額		
	事業	01 公立学校施設災害復旧事業				千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国員 公立学校施設災害復旧事業費負担金(2/3)	513千円	諸収入 市有建物償還共済金	2,705千円	課	教育総務課
目的	令和3年8月3日の落雷により被災した学校施設の復旧を図る。		市債	公立学校施設災害復旧事業費	200千円			
主要な事務・事業の概要	〇いさなご小学校電気設備災害復旧事業 ・工事請負費		3,850千円					
				成果・課題	〇令和3年8月3日の落雷により、いさなご小学校の高圧受電設備が被害を受け停電となる災害が発生したため、復旧工事を実施した。 〇被災した公立学校施設を復旧することにより施設の機能回復を図ることができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																							
	項	01 教育総務費	3,403千円	3,537千円	134千円	96.2%																									
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額																									
	事業	10 地域学校協働本部事業				3,537千円																									
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実	府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金	2,098千円																											
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。		主な財源																												
主要な事務・事業の概要	地域全体で学校教育を支援するため、様々な特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として登録し、全てのこども園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などを実施した。 〇地域コーディネーター謝金 (6人分) 2,686千円 〇地域コーディネーター旅費 264千円 〇消耗品費、印刷製本費 453千円 <活動概要> 〇実施期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 〇実施場所 市内全小学校(17校)、中学校(6校)こども園(6園) 〇地域コーディネーター 6人(配置先:6中学校) 〇ボランティア登録者数 557人(令和3年度新規登録者数32人) 〇広報紙の発行 2回(ボランティア募集、活動報告) ※ボランティアの登録状況(令和3年3月末現在)			〇ボランティア活動の内容等 ・学習支援(教科指導補助、「総合的な学習」講師補助、部活動指導支援等) ・環境支援(学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等)																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区域</th> <th>活動日数</th> <th>活動人数(延べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山学園</td> <td>375日</td> <td>2,781人</td> </tr> <tr> <td>大宮学園</td> <td>130日</td> <td>145人</td> </tr> <tr> <td>網野学園</td> <td>636日</td> <td>3,946人</td> </tr> <tr> <td>丹後学園</td> <td>74日</td> <td>181人</td> </tr> <tr> <td>弥栄学園</td> <td>299日</td> <td>418人</td> </tr> <tr> <td>久美浜学園</td> <td>466日</td> <td>6,282人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,980日</td> <td>13,753人</td> </tr> </tbody> </table>		区域	活動日数	活動人数(延べ)	峰山学園	375日	2,781人	大宮学園	130日	145人	網野学園	636日	3,946人	丹後学園	74日	181人	弥栄学園	299日	418人	久美浜学園	466日	6,282人	合計	1,980日	13,753人		成果・課題	〇地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がり、市民の生きがい作りになっている。 〇学校活動の多様化に伴うニーズを的確に把握し、地域特性を活かした人材(ボランティア登録者)をより多く確保していく必要がある。		
区域	活動日数	活動人数(延べ)																													
峰山学園	375日	2,781人																													
大宮学園	130日	145人																													
網野学園	636日	3,946人																													
丹後学園	74日	181人																													
弥栄学園	299日	418人																													
久美浜学園	466日	6,282人																													
合計	1,980日	13,753人																													

外費科目	款	10 教育費	本年度決算額 226千円	最終予算額 231千円	不用額 5千円	執行率	部 教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				97.8 %	
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	
	事業	21 共同学校事務室運営事業				231千円	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源				
目的	学校事務処理の適正化及び標準化、効率化、学校マネジメント機能の強化等を図るため、共同学校事務室を設置し、学校の教育力・組織力の向上を推進する。						
主要な事務・事業の概要	○共同学校事務室運営経費 226千円 令和3年度は、平成30年度より実践研究校として取り組んできた網野学園（網野中・網野北小・網野南小・豊津小・橋小）において先行して共同学校事務室を設置。 【網野学園における共同実施業務】 学校経営全体に関わる業務（各種文書の收受発出など情報管理） 教職員人事に関する業務（給与、旅費、福利厚生、服務等に関する業務） 教育活動に直接関係する業務（学校予算、備品、就学援助等に関する業務） そのほか校内体制に応じて参画する業務 等						
	・消耗品費 174千円 ・印刷製本費 30千円 ・役員費（通信運搬費） 22千円				成果・課題 ○異なる様式や処理方法を統一し共有することで、学校事務の標準化を進めることができた。 ○事務処理状況の確認や、帳簿類の相互チェックを行い、事務の適正な執行を図るとともに、事務職員のスキルアップにつなげることができた。 ○役割を分担し、学校規模による事務量の差を調整することで、安定した学校事務に取り組むことができた。 ○令和4年度から全学園に共同学校事務室を設置するため、網野学園共同学校事務室の成果を共有していくことが重要である。		

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額 14,094千円	最終予算額 14,361千円	不用額 267千円	執行率	部 教育委員会事務局	
	項	02 児童福祉費				98.1 %		
	目	01 児童福祉総務費				(参考)当初予算額		
	事業	50 児童福祉総務一般経費				951千円		課 子ども未来課
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源					
目的	児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な一般経費							
主要な事務・事業の概要	○旅費 7千円 ・担当省会議等職員旅費		○償還金利息及び割引料 13,409千円 [過年度国庫支出金返還金]					
	○需用費 535千円 ・公用車燃料代（3台）及び車検（2台）費用等		・令和2年度子ども・子育て支援交付金国庫返還金 8,692千円 ・令和2年度子どものための教育・保育給付交付金国庫返還金 2,628千円 ・令和元年度保育対策総合支援事業費補助金国庫返還金 143千円 ・令和2年度保育対策総合支援事業費補助金国庫返還金 544千円 ・令和2年度子育てのための施設等利用給付交付金国庫返還金 153千円 ・令和2年度子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金国庫返還金 30千円					
○役務費 124千円 ・車検費用、自動車損害保険料等		○使用料及び賃借料 9千円 ・有料道路通行料		[過年度府支出金返還金] ・令和2年度子どものための教育・保育給付府費交付金返還金 1,219千円				
○公課費 10千円 ・公用車重量税（2台）				成果・課題 支出内容を精査しながら、児童福祉業務を適切に遂行することができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	3,884千円	4,000千円	116千円	(参考)当初予算額	4,000千円	97.1%				
	目	01 教育委員会費										
	事業	50 教育委員会一般経費										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源									課	教育総務課
目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会を運営する。											
主要な事務・事業の概要	<p>教育委員の報酬、会議参集や管内研修に係る費用弁償及び月後地方教育委員会連合会負担金を支出した。教育委員会会議は、定例会12回、臨時会6回及び委員協議会3回を開催した。</p> <p>また、市内学校をはじめ社会教育施設等の管内視察や、各種研修及び先進地視察の活動を行った。</p>											
	<p>○報酬 3,456千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の報酬(4人) <p>○旅費等 136千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿市町村教育委員会研修大会に要する経費 ・先進地視察研修に要する経費 あかし市民図書館(兵庫県明石市)、養父市文化会館(兵庫県養父市) ※研修テーマ:複合施設への移転効果と課題など ・各種研修、会議出席等に要する経費 <p>○負担金 292千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月後地方教育委員会連合会負担金 	<p>○管内視察をはじめ先進地視察を実施し実情の把握に努め、積極的な活動を行うことにより幅広い職員を得ることができた。</p> <p>○社会の変化や新たな行政需要に対応するため、委員協議会を活用し、調査・研修及び意見交換を行うことができた。</p> <p>○課題解決に向け、地域の意向や教育現場等の状況を把握し、教育施策や教育委員会の意思決定に反映させるため、今後も研修機会及び管内視察等の充実を図る必要がある。</p>										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	7,169千円	7,882千円	713千円	(参考)当初予算額	7,740千円	90.9%				
	目	02 事務局費										
	事業	50 事務局一般経費										
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	繰入金 360千円	諱哲・まちづくり夢基金繰入金								
目的	教育委員会事務局の円滑な運営及び公用車の適正な維持管理を行うとともに、全国部活動特別入学選抜により市内の高等学校に入学する生徒を応援する補助金を創設し、生徒の就学支援及び地域の活性化を図った。											
主要な事務・事業の概要	<p>○事務局運営に係る経費 5,461千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員任用経費(事務補助2人) 4,564千円 ・教育委員会活動点検評価謝金(2人) 40千円 ・各種協議会等出張旅費(教育長、職員等) 101千円 ・激励金(5団体、個人19人) 340千円 (スポーツ等の国際大会・全国大会に出場する選手を激励) カヌーほか8競技 ・書籍、消耗品費ほか 416千円 <p>○公用車の維持管理経費 1,260千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公用車6台(うち車検2台)の燃料費、保険料、車検等経費 <p>○各協議会、団体への負担金 88千円</p> <p>全国都市教育長協議会負担金、定時制通信教育振興会負担金、京都府都市教育長協議会参加負担金、安全運転管理者講習会負担金</p>											
	<p>○高等学校全国募集入学生応援補助金 360千円</p> <p>月額15,000円×12月×2人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校 : 京都府立丹後緑風高等学校(網野学舎) ・部活動名: レスリング部 	<p>○全国部活動特別入学選抜により、市内の高等学校に入学した生徒の下宿等に係る経済的負担軽減を図るとともに、生徒の就学支援をはじめ、地域で培われたスポーツ風土を生かした部活動を応援することで人材の育成及び地域の活性化に寄与することができた。</p> <p>○教育委員会事務局の運営及び公用車管理について、経費削減に努めながら効率的な執行ができた。</p>										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局							
	項	01 教育総務費							209,131千円	429,954千円	220,823千円	48.6%			
	目	02 事務局費										(参考)当初予算額			
	事業	12 学校跡施設管理事業										429,954千円	教育総務課		
基本計画	30 行財政改革大綱(効率的・効果的な行財政運営)	市債 旧小学校施設解体事業債(合併特別債)		194,100千円											
目的	学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行い、利活用の推進を図る。		主な財源												
主要な事業・事業の概要	○閉校施設修繕費(4施設) 506千円 電気設備、貯水槽、フェンス等の修繕を行い、施設の適正管理を図った。 修繕施設: 旧大宮第三小学校、旧田村小学校、旧豊栄小学校、旧宇川中学校			○旧湊小学校校舎棟解体事業 205,365千円 ・委託料(建物調査等業務、地下水水質調査業務) 5,204千円 ・工事請負費 199,194千円 ・手数料等 967千円 (エアコン撤去手数料、消火器処分手数料等)											
	○維持管理経費 1,014千円 貯水槽法定検査手数料(容量10m ³ を超える貯水槽2施設)、建物火災保険料、貯水槽等保守点検、雑木伐採委託料、ごみ処理手数料等			<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>209,488千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.8%</td> </tr> </table>						参考	繰越明許費を除いた最終予算額	209,488千円		実質的な予算執行率	99.8%
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		209,488千円											
		実質的な予算執行率	99.8%												
○工事請負費 2,123千円 ・旧大宮第三小学校貯水槽改修工事 673千円 ・旧川上小学校消防ポンプ設備改修工事 528千円 ・旧豊栄小学校校舎消防設備改修工事 922千円		■令和4年度への繰越事業 220,466千円 ・旧橋小学校低圧化工事(工事請負費) 令和4年5月完了 ・旧湊小学校校舎棟解体事業(工事監理、工事請負費) 令和4年6月完了													
○学校跡施設利活用経費 123千円 ・学校跡施設利活用委員会経費 35千円 ・手数料等(ごみ処理手数料等) 88千円		成果・課題 ○施設の老朽化が進み、利活用ができない旧湊小学校校舎及びプール棟施設について除却を進めることができたが、解体工事を実施する際は、周辺環境等の調査検討を十分に行い進めることが必要である。 ○旧橋小学校体育館及びグラウンド、旧豊栄小学校校舎について、利活用の公募を行い事業候補者を決定することができた。 ○施設等の状況を考慮しながら、利活用が進むよう今後も検討を進めていく必要がある。													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	01 教育総務費							1,606千円	1,606千円	千円	100.0%
	目	02 事務局費										(参考)当初予算額
	事業	13 学校教育施設整備基金										1,583千円
基本計画	30 行財政改革大綱(効率的・効果的な行財政運営)	財産収入 土地建物賃付収入		1,604千円								
目的	学校跡施設の建物賃付料をもとに、学校教育施設の整備等を進めることを目的とした学校教育施設整備基金への積立金		主な財源	財産収入 学校教育施設整備基金利子収入 2千円								
主要な事業・事業の概要	○学校教育施設整備基金積立金 1,606千円 建物賃借料を基に国が算出した国庫納付金相当額以上を積み立てる ・旧大宮第三小学校分 278千円 ・旧三津小学校分 1,326千円 ・基金利子分 2千円											
				(単位:千円)								
	令和2年度末 現在高	令和3年度中増減額			令和3年度末 現在高							
	①	②	③	④	①-②+(③+④)							
5,303	0	2	1,604	6,909								
				成果・課題								